

省エネ基準適合義務化と断熱材市場

▶下◀

による責任施工を行って築した。「原材料調達→EAT20・G2」の義務ものは。

田所 今年秋、住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）より、戸建住宅向けのJICAAT

技術者は、日本セルロースファイバー断熱施工協会（JCA）の座学と実技による施工研修を修了

おり、各種性能が第三者評価により安定的に担保されている。これによ

て非JIS製品との差別化が明確となり、設計者・施工者・施主にとつての「安心の基準」とな

っている。代理店の断熱施工製造・使用・廃棄」とい

う全ての段階で環境貢献をしており、環境負荷を

定量的に公開している。現在、断熱材業界全体で

もEPC取得の共通ルールとなる製品カテゴリー

化されつつある」とい

う。さらに、25年度にはG

業界の脱炭素の動きが加

速していく。これにより、

住宅単位でのライフサイ

クルCO₂排出量やエン

ボイドカーボンの定量

評価と表示が可能とな

り、住宅の環境性能に対

する社会的要求水準が高

まってい。当社では、こ

のような変化にいち早く

「デコスファイバ

ー」は、どう差別化を図

るのか。

田所 当社では断熱材

の価値については、「製

品品質×施工品質×環境

価値」の3つの軸で明確

に定義している。

「製品品質」につ

いては。

田所 デコスファイバ

ーは、リサイクル新聞紙

を主原料とした木質繊維

系セルロースファイバ

断熱材。山口工場および

関東工場の両拠点ではJ

ISA9523（吹込み

断熱材）認証を取得して

おり、各種性能が第三者

評価により安定的に担保

されている。これによ

て非JIS製品との差別

化が明確となり、設計者

・施工者・施主にとつ

ての「安心の基準」とな

っている。

「施工品質」は。

田所 私たちは全国に

展開する施工代理店制度

（加盟会社60社）を通し

て、「デコスドライ工法」

による責任施工を行って

築した。「原材料調達→

EAT20・G2」の義務

脱炭素時代に選ばれる建材

「環境価値」をど

う見るか。

田所 デコスファイバ

ーは、日本の断熱材とし

て2011年に建築用断

熱材としては日本で初め

てCFPを取得してお

う見ているか。

田所 ①2030年に

CN実現に貢献へ

「今後の方向性をど

う見ているか。

田所 ①2030年に

断熱等級6（H

田所 今年秋、住宅・建

築SDGs推進センタ

ー（IBECs）より、戸建

住宅向けのJICAAT

（建築物のライフサイク

ルカーボン算定ツール）

の戸建住宅版がリリース

される予定であり、建築

業界の脱炭素の動きが加

速していく。これにより、

住宅単位でのライフサイ

クルCO₂排出量やエン

ボイドカーボンの定量

評価と表示が可能とな

り、住宅の環境性能に対

する社会的要求水準が高

まってい。当社では、こ

のような変化にいち早く

対応し、建築の品質向上

とカーボンニュートラル

社会の実現に貢献してい

デコス・田所憲一に聞く

役員
取締役
企画部長

デコス（山口県下関市、安成信次社長）によるセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」は、脱炭素時代に選ばれる建材として、いち早くカーボンフットプリント（CFP）の取得や全ての段階でCO₂排出量の「見える化」する仕組みを構築してきた。2050年にカーボンニュートラルを目指している日本では、住宅の環境性能に対する社会的要求水準が高まっている。これから必要な取り組みは何か、前回に続いて取締役企画部長であり東京OFFICEの田所憲一所長に聞いた。

「デコスファイバー」は、どう差別化を図るのか。

田所 当社では断熱材の価値については、「製品品質×施工品質×環境価値」の3つの軸で明確に定義している。

「製品品質」につ

いては。

田所 デコスファイバーは、リサイクル新聞紙を主原料とした木質繊維系セルロースファイバー断熱材。山口工場および関東工場の両拠点ではJISA9523（吹込み用セルロースファイバー

「環境価値」をどう見るか。

田所 デコスファイバーは、日本の断熱材として2011年に建築用断熱材としては日本で初めてCFPを取得して

「今後の方向性をどう見ているか。

田所 ①2030年に断熱等級6（H

「CN実現に貢献へ

「今後の方向性をどう見ているか。

田所 ①2030年に断熱等級6（H

「CN実現に貢献へ

「今後の方向性をどう見ているか。

田所 ①2030年に断熱等級6（H

「CN実現に貢献へ

「今後の方向性をどう見ているか。

田所 ①2030年に断熱等級6（H